秋山郷　地域おこし協力隊　募集要綱

■秋山郷ってどんなところ？

　秋山郷とは信濃川の支流、中津川の上流域に点在する集落の総称で、津南町から長野県最北端の村、栄村へと続いています。山肌迫る渓谷美は、紅葉の名所として知られ、平家落人の伝承やマタギ文化など、昔ながらの生活様式が色濃く残る秘境地域です。

　豊かな自然の恩恵を受け、厳しい自然と共存し、自らの手で住む土地を整えながら、人も動物も植物も力強く生きている地域です。

　豪雪で知られている津南町のなかでも特に雪が多い秋山郷。ここでは、ほとんどの家庭が自分で米や野菜を育てています。雪は屋根の雪おろしや家周りの雪かきという面で厄介なものでもありますが、その恩恵は作物にとって非常に大切です。火山噴火物で形成された土地で自然ろ過された柔らかい水が、おいしい作物につながっています。また、美しい風景はもちろんのこと、昔から残る保存食や野菜の保存技術といった食文化にもつながっており、豪雪も含めて魅力に溢れる地域です。

■募集人数

１人　（着任時期は、面接から約３か月ほどです）

大赤沢集落を拠点に、結束集落に着任している隊員と 2 人で協力しながら活動していただきます。

■地域の課題

秋山郷地域は、人口減少と高齢化が著しく、地域活動の維持にもかかわる状況です。具体的には、草刈り（道普請）等の地域活動や高齢者住宅の雪下ろしの手伝い、まつり等の行事の開催といったものがあります。休耕田も増えており、それによって草刈りする面積も増えていることが現状です。また、子どもの減少や時代の変遷によって忘れられつつある秋山郷の文化や行事を、協力隊の立場から継承・再興していただければと思っています。

■地域が求める人材

・老若男女問わずコミュニケーションが取れる人
・体力のある方（草刈りや雪下ろしのため）
・地域の一員として活動できる人
・自ら課題を発見し、解決する行動ができる人

結東の石垣田

■隊員に期待する最終目標

地域に馴染んでほしい！

歴史を知り、文化を知り、今の生活を知って、対話をし、とにかく地域に馴染んでほしいです。
地域には、「外を歩いている人を見るだけで安心する」「誰かと話をすると元気が出る」と言う人が沢山います。たくさんお話ししてください。
秋山郷地区のみんなが隊員の顔を知っていて、頼み事がしやすい関係性になることが期待する目標です。
また、秋山郷、津南町は、魅力は多いのですが、上記のように課題も沢山あります。
その中から、ご自身の「得意」と繋げられる部分を探り、解決に向かってご自身で目標設定をし、業務に取り組んでいただきたいです。

■目標設定例

課題解決に向かって、といっても、なかなか想像がつきづらいかと思います。
いくつか例を挙げますので、参考にしてください。

・移住者誘致／関係人口創出　―地域交流ツアーや田植え体験の実施、民泊の開業
・秋山郷ファンを増やす　―SNS を活用した広報活動
・休耕田の活用　―花や野菜を植えることによる活用、商品開発
・秋山郷内の賑わい創出　―交流会（お茶飲み会や簡単なスポーツ会など）の開催

■活動例

例えば、の簡単な活動例です。参考にしてください。

〇1 年目
とにかく関係性作り。地域の文化を知るためにも、秋山郷内外を行き来し、人のお家を訪ねてお茶飲みをひたすらする。
秋山郷には様々な面での魅力があります。きっと、自分のお気に入りポイントが見つかるはずです。
自分を知ってもらい、秋山郷を知り、津南町を知る。１年かけて、たっぷりと味わってください。

〇2 年目
1 年目で感じた自分のお気に入りポイントに関して、
知識を深めるもよし、SNS 等で広めるもよし、地域の方自身に伝えていくもよし。
引き続き地域との交流を深めながら、
自分の得意と地域の魅力を繋げていく道を探りながら見つけ、実行していく期間です。

〇3 年目
3 年目に入ると、きっと「こういう風に生きていきたい」というものが見つかってきます。
それは仕事でも、趣味でも、どういう土地に生きる、でも。
もしこの地域を気に入ってくれたら、この町に残るための道も探ってください。
協力隊はその道を作ることも、仕事の一環です。

■具体的な活動例

1. お茶飲み
　各家庭の見回りや歴史や文化を知るため、また、してほしいことや困りごとの聞き取りのため、積極的にお茶飲みに行っていただきたいです。

2. 地域活動の手伝い
　草刈りや花植え作業、雪おろしなどの地域で行う共同作業や、農作業をはじめとする地域の方が困っていることや人手を必要としている作業を、できる範囲で手伝っていただきたいです。

3. 交流イベントの開催
　お茶飲み会や運動や手仕事など、一緒にできる会を開催していただきたいです。コロナをきっかけに行事や集まる機会が減ったため、集落内の交流の機会がほしいです。

4.　　鳥獣被害への対策

電気柵の設置や、作物保護用のネット設置を手伝っていただきたいです。活動期間内に狩猟免許（罠、猟銃）を取得し、猟友会に所属することも可能です。免許取得費用は補助もあります。

地区では毎年農作物への被害が絶えません。

秋山郷はマタギの文化が伝わった場所でもあります。当時のマタギ文化を学ぶ機会にもなるはずです。

5.　　地域交流ツアーの開催

2022 年から、年に 1～2 回開催しているツアーです。町の補助金を受けて主催しています。最終目標は移住者を呼び込むことですが、継続的な訪問者を増やすことや、関係人口を増やすこと、そのために地域の雰囲気や暮らし、文化を知ってもらうことを目的にしています。

6.　　町のイベントや行事の手伝い

希望があれば、町や、ときには別の地域の手伝いも可能です。

あくまで秋山郷優先にはなりますが、町の協力隊としての活動も大切です。

地域と町の架け橋となることを期待します。

冬の景色

地域交流ツアーの様子（夕食）

■世話人

活動のこと、暮らしのこと、野菜作りのことや、米作りのことなど、なんでも相談してください！
もちろん、地域のほかの方々も快く相談に乗ってくれます。

●吉野　徹（よしの　とおる）　結東（けっとう）集落

一緒に地域を盛り上げてくれる方、
お待ちしています！

●瀧澤　信行（たきざわ　のぶゆき）　結東（けっとう）集落

今住んでいるところで少し疲れている方、違う仕事をしてみたい方、
便利なものがなにもない秋山郷での生活はどうですか？

●藤ノ木　茂（ふじのき　しげる）　大赤沢集落

集落の一員として地域になじみ活動できるよう、
集落民あげて協力します。応募お待ちしています！

■在住の先輩隊員

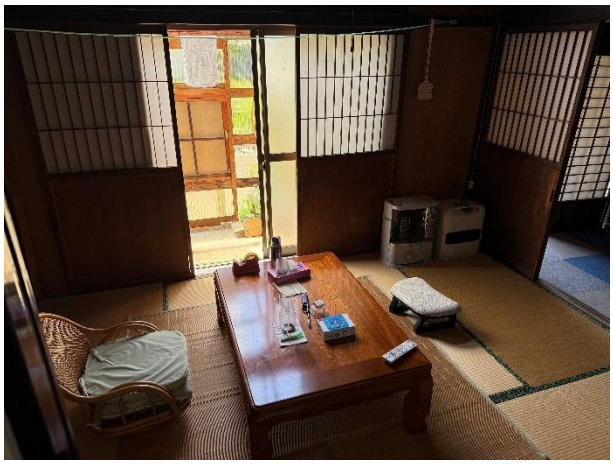
秋山郷で協力隊活動をして、そのまま定住している先輩隊員を紹介します！

●飯野　裕一（いいの　ゆういち）　　2017 年～2020 年活動

秋山で暮らしはじめて 8 年。
長年この地域で繰り返されていた無駄のない丁寧な暮らしや、
小さな集落の一員として地域に関わることに魅され、
地元の方々に知恵や技術を学びながら夫婦で暮らしを楽しんでいます。
秋山で一緒に暮らしませんか？

●長井　惇子（ながい　あつこ）　2021 年～2025 年活動／現在　地域おこし協力隊サポーター

秋山郷の雄大な土地に日々癒されながら、また、皆さんの優しさに
感動しながら暮らしています。
退任後も津南に残るので、お力になれることもあると思います。
まずは見学だけでも、お待ちしています！

■隊員住居と経費

大赤沢という集落の住居です。
茅葺屋根の昔ながらの家で、とても綺麗にされています。屋根の雪は自然落下し、周囲は水を流しているため、雪下ろしの心配はありません。
家賃：２万円（半額家賃補助あり）
設備：野外駐車場、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ、洗濯機、ストーブ